

【No. 1】 商業施設の創業・開店などに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1904年（明治37年）、日本初のデパートメントストアとして「三越」が創業
2. 1925年（大正14年）、わが国初のショッピングセンターと言われている「玉川高島屋SC」が誕生
3. 1953年（昭和28年）、わが国初のセルフサービス式・スーパーマーケット「紀ノ国屋」が開店
4. 1974年（昭和49年）、「セブンイレブン」のフランチャイジー日本第1号店が東京・江東区にオープン

答. 2

【No. 2】 商業に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. POSシステムとは、売り上げから得られるバーコード情報をデータ収集システムである
2. エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合である
3. E-コマースとは、一種の通信販売のことである
4. ライフスタイルとは、人生の生涯寿命、一生の各段階を意味する用語である

答. 4

【No. 3】 次の記述のうち、消費支出の構成比をあらわす5大費用に含まれないものはどれか。

1. 交通費
2. 食料費
3. 被服費
4. 光熱費

答. 1

【No. 4】 次の記述のうち、2015年7月から実施された、消費者相談を全国共通の電話番号で受け付ける「消費者ホットライン」の**3桁の番号**のものはどれか。

1. 189
2. 188
3. 177
4. 118

答. 2

【No. 5】 暮らしと商業に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. モノ消費からコト消費へと変化しているといわれている中、ショッピングセンターでも、レジャー要素を取り入れたものが増えている
2. 小売りの輪とは、価格破壊による新業態登場→価格上昇→別の低価格新業態登場ということが繰り返される様子を説明したもので、かつては百貨店やコンビニエンスストアも、安値を武器としていた
3. 2015年、日本へ入国した外国人観光客数は、多い順で、中国→韓国→台湾の順となり、中国が台湾を抜いた
4. 地域創生には、第1次産業の拡充が要であるとされており、政府は1次と2次、3次産業者をつなげる6次産業化の推進を進めている

答. 2

【No. 6】 電子商取引（E-コマース）市場に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 日本国内での書籍の購入は実店舗よりE-コマース市場が大きい
2. E-コマース国内市場において売上規模が最も大きいものは衣類・服装雑貨である
3. 日本国内のBtoCの市場取引は10兆円を超え、世界で4位である
4. スマートフォン経由の売上比率が上昇し、楽天はモバイル比率が50%を超えた

答. 1

【No. 7】家訓、社是、社訓の「カ・キ・ク・ケ・コ」は、日本の企業が持つべき商道德の原点であり、また現代でも生き続ける知恵であるといわれている。

カは感謝、キは勤勉、クは工夫、ケは儉約、コに対する最も適切な語句は、次のうちどれか。

1. 根気
2. 貢献
3. 行動
4. 根性

答. 2

【No. 8】消費者が商品に対し注意を喚起され、実際にその商品を購入するまでのプロセスを示す「A I D M A (アイドマの法則)」と呼ばれる考え方がある。

A I D M Aは5段階のプロセスによって構成されるが、3段階目の「D」の頭文字の英単語に最もふさわしいものは次のうちどれか。

Attention(注意)→ Interest(関心)→ → Memory(記憶)→ Action(行動)

1. Discovery(発見)
2. Discussion(話し合い)
3. Desire(欲求)
4. Doing(行為)

答. 3

【No. 9】2014年、J I S (日本工業規格)の案内用記号に高齢者や妊産婦などの優先設備・優先関連図記号が追加された。

次の記号のうち、誤っているものはどれか。

1.



2.



3.



4.



答. 3

[No.10] 「すべての人のためのデザイン」の意味であるユニバーサル・デザイン（U. D）は高齢化社会、2020 東京オリンピックに向かい重要度を増している。

次の記述のうち、「U. Dの7原則」に**含まれない**ものはどれか

1. 誤った使い方をして事故や危険につながりにくい
2. なるべく少ない身体的負担で使用できる
3. 使い方が簡単で、すぐ分かること
4. 赤は危険、青は安全を基本とすること

答. 4

【No.11】業種と業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 店でどんな商品売っているかという事業内容を日本標準産業分類に従って分類するのが業種分類である
2. 業種分類は生産体系での分類であり、業態分類は消費者視点での分類である
3. 業種分類では商業サービス動向が正確に把握できなくなっている。そこで小売業の営業形態に着目する業態分類が有効性をもってきている
4. 業種店に関して一般的にいえることは、奢侈（しゃし）的消費にかかわる店舗が減少し、必需的消費にかかわる小売業が相対的に増えていく

答. 4

【No.12】カフェに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. チェーンセルフサービス店は、FC（フランチャイズチェーン）が多いので、内外装のデザインはフランチャイザーが独自でデザインすることが多い
2. 味覚やデザインセンスが磨かれた現代の客の欲求を的確に見抜き、味、サービス共に高いレベルでその欲求を満たしつつける店が勝ち残っていく
3. 最近若者のあいだに、古民家を利用したカフェや居抜きのまま営業する投資効率のよい店が出てきているが、なかなか難しい経営である
4. 珈琲のみならず和菓子や抹茶を中心に提供する豪華な店づくりをする店舗も現れてきており、その店舗では高売り上げを必要とするため、客単価の設定が1,000円を超すことも多々ある

答. 1

【No.13】わが国の、業界別小売企業の売上高の順位に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. コンビニエンス業界の売上高トップは「セブンイレブンジャパン」で「ファミリーマート」「ローソン」の順である
2. 家電量販店業界の売上高トップは「ヤマダ電機」で「ビックカメラ」「K's ホールディング

ス」の順である

3. ファストファッション業界における売上高トップは、「ファーストリテイリング」である
4. 家具・インテリア業界の売上高トップは、世界的な企業の「IKEA」を除くと「ニトリ」がある

答. 1

【No.14】 商業トレンドに関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 百貨店は、アウトバウンドの影響で 2015 年は売上が回復基調となった
2. GMS は、最も不調な業態の一つであり、2016 年にイオン系はGMS店舗の大幅な閉鎖計画を決めた
3. インターネット等の電子商取引は、大幅に売上を伸張しており、2014 年には 12 兆円を超えたとの試算もある
4. ショッピングセンターは、特徴がなくなっており、今後シルバー層や観光に特化するなど個性のある開発が進む可能性が高い

答. 2

【No.15】 VMDに関する記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. VMDの基になるのはマーチャンダイジングである
2. ストアデザインはVMDの要素の一つである
3. 店内の演出のことで新聞広告やDMは含まれない
4. 日本ではビジュアルマーチャンダイジングの略語として使われている

答. 3

【No.16】 商業施設や公共施設のエレベーター内には、大きな鏡が設置されていることが多い。それは何のために鏡を設置するのか。

次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 車いす使用者が乗り降りする際に、かご及び昇降路の出入り口を確認するため
2. エレベーターを新設する際、設置を省令で義務づけている
3. エレベーター内の犯罪防止のため
4. エレベーターに後から乗ってくる人を確認するため

答. 1

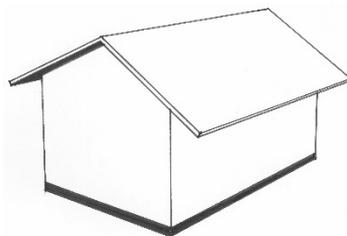
【No.17】 西欧の近代建築運動に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. オットー・ワグナーの提唱で、ウィーンを中心とする古典主義から離脱しようという総合的な芸術運動をゼツェッションという
2. 後にベル・エポックと呼ばれる繁栄の状況を彩った芸術・建築の様式を一般的にアール・デコという
3. ドイツ・ヴァイマルに設立された工芸・写真・デザインなどを含む美術と建築に関する総合的な教育を行った学校をバウハウスという
4. ル・コルビュジェにより提唱された近代建築の五原則は、鉄筋コンクリート造という新しい技術により建築の可能性が明快に示された

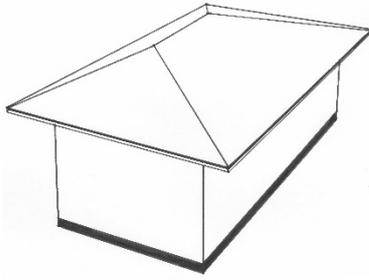
答. 2

【No.18】 屋根の形状とその名称に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

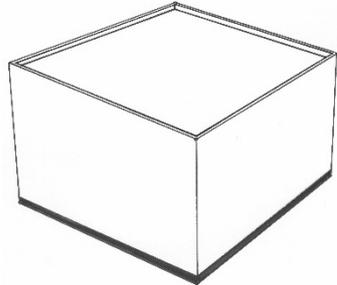
1. 切妻屋根 ………



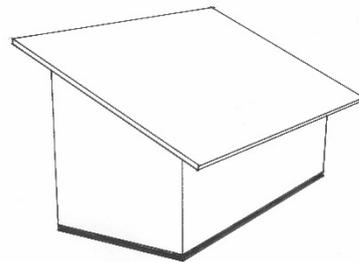
2. 寄棟屋根 ………



3. 方形屋根 ………



4. 片流れ屋根 ………



答. 3

【No.19】 建築計画の前提となる社会現象に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 近年、システム建築が様々開発されロードサイド店舗やチェーン展開する流通業に広く採用され始めている
2. 地震、津波、がけ崩れなどの天災時での商業施設は個人及び地域のライフラインとして重要である
3. 複合商業施設に出店するテナントにとってルールブックは出店条件を定め重要な書類ではない
4. 経済停滞、人口減少が予想される自治体にとってコンパクトシティ化は有効な財源確保策として期待できる

答. 3

【No.20】 施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか

1. 百貨店などの大型店で用いられるロの字型の動線を回遊動線という
2. 床、壁、天井などの躯体を覆う部材の色を地色という
3. 部材の経済寸法を考慮した設計は環境配慮設計の項目には入らない
4. 照明の明るさを表す単位を lx (ルクス) という

答. 3

【No.21】 商業施設においての投資と回収に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 初期投資額 (=イニシャルコスト) を回収するために必要となる費用項目には、仕入れ及び返品費、人件費、物流費、施設管理費、が含まれる
2. 初期投資額とは、開業までに必要な全ての費用のことであるが、調査費や設計料などのソフト費用は含まれない
3. 損益分岐点売上高とは、一定期間内での売上げがそれまでに投入した諸費用をクリアする売上額のことである
4. 仕入れコストを圧縮して販売する低価格商品では、利益幅が少ないこともある

答. 2

【No.22】 商業施設づくりに関連する各種法規に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「建築基準法」により、店舗の壁・天井等の室内仕上げ (内装) の材料等が定められている
2. 店舗面積 1,000 m²を超える大規模小売店舗を新設しようとするときは、都道府県に届け出ることが「大規模小売店舗立地法」で定められている
3. 「興業場法」により、建築物 (防火対象物) に設ける、どん帳、幕、じゅうたん、展示用合板の防災規制の規定がある
4. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律を、通称、「バリアフリー新法」と呼んでいる

【No.23】 窓に関連する下記のラベルにおいて、その性能に関する次の記述のうち、**最も適当**なものはどれか。



1. 断熱性能
2. 可視光透過率
3. 遮煙性能
4. リサイクル率

【No.24】 工事監理と施工管理に関する次の記述のうち、**最も不適当**なものはどれか。

1. 施工管理とは、品質、工程、原価、安全等、施工者が自主的に行うことである
2. 工事請負契約への協力、施工計画書の検討・助言は工事監理業務である
3. 施工管理とは、施主の立場に立って、工事が設計図書に基づき施工されることを指導することである
4. 工事監理とは、その者の責任において、工事を設計図書と照合し、設計図書どおりに実施されているかいないかを確認することをいう

【No.25】 施工管理に関する次の記述のうち、**最も不適当**なものはどれか。

1. 品質管理は、品質が設計図書ならびに契約条件に合致し、適切な水準を確保するように管理することである
2. 工程管理は設計図書に示された品質の空間を工期内に完成させるために日程、作業手順等の計画をたて、実施進捗管理をする業務である
3. 原価管理は工事の部分別原価または工種別の労務費、材料費、経費等の実行予算をたて適切に運営する経済性の管理である
4. 安全管理については、一定規模以上の工事では「労働安全衛生法」の遵守が必要である

答. 4

【No.26】 監理業務に関連する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. BIM …………… 3次元CADを活用したビルディングインフォメーションモデル
2. VE手法 …………… バリューエンジニアリングと呼ばれコスト縮減などの手法として活用されている
3. PFI方式 …… 公共施設等の建設、維持管理を民間の資金、経営能力を活用して行う方式
4. CM方式 …………… 企画から施工・維持管理まで総合的にマネジメントする方式

答. 4

【No.27】 各種工事の施工に関する次の用語の組合せのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防水工事 ————— アスファルト
2. 石工事 ————— ジェットバーナー
3. 建具工事 ————— シリンダー
4. 給排水設備工事 ——— ガスケット

答. 4

【No.28】 維持管理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ファシリティマネジメントとは業務用不動産を管理運営するための手法である
2. ランニングコストとは、建物の生涯費用のことである
3. スtockマネジメントとは、既存の建物を有効に活用し、長寿命化を図る手法である
4. リノベーションとは、建物の用途や機能を変更して、性能を向上させることである

答. 2

【No.29】 防犯対策に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ICカード・タグ …… カードを近づけて、開錠できるシステム
2. 生体認証システム …… テンキー、カード式
3. 鍵管理システム …… ピッキング防止システム
4. セキュリティゲート …… 共連れ防止システム

答. 2

【No.30】 「応急危険度判定」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大地震により被災した建築物を調査し、危険性を判定する
2. 判定結果は、建築物の見やすい場所に表示され、危険性について情報提供する
3. 応急危険度判定士は、講習を受講し、都道府県が養成、登録をおこなう
4. 応急危険度判定士は、罹災証明のためや被災建築物の恒久的使用の可否を判定する目的でおこなう

答. 4